

2025年3月期 連結決算の概要



2025/5/7

株式会社 有沢製作所

目次

- 2025年3月期 連結決算
- 2026年3月期 業績予想
- 参考資料

2025年3月期 通期 連結決算



(百万円)	24/3期 実績	25/3期 2/6予想	25/3期 実績	前期比	2/6 予想比
売上高	42,114	49,200	49,815	18.3%	1.3%
営業利益	1,483	4,500	4,893	3.3倍	8.7%
営業利益率	3.5%	9.1%	9.8%		
経常利益	1,488	5,000	5,267	3.5倍	5.3%
純利益	1,639	3,500	3,969	2.4倍	13.4%
一株利益(円)	49.51	105.36*	119.49	2.4倍	13.4%
配当金(円)	合計 60.00	合計 84.00	合計 96.00	--	--
為替レート (円/\$)	平均 140.67 期末 151.41	151.69 153.00	151.69 149.52	--	--

* 12月31日現在の発行済株式数で試算

前期比

- ・売上高は、電子材料およびディスプレイ材料が増加し、77億1百万円(前期比18.3%)の増収。
- ・営業利益は、売上高の増加とそれに伴う操業度向上により、34億9百万円(同3.3倍)の増益。
- ・経常利益は、為替の影響もあり同3.5倍の増益。
- ・当期純利益は、前期に比べ有価証券売却益が減少し、同2.4倍の増益。

2/6予想比

- ・売上高は、主に電子材料が増加し、6億15百万円(予想比1.3%)の増収。
- ・営業利益は、売上高の増加により3億93百万円(同8.7%)の増益。
- ・経常利益は、為替差益の減少により同5.3%の増益にとどまる。当期純利益は同13.4%の増益。

(百万円)	24/3期 通期実績	25/3期 通期予想(2/6)	25/3期 通期実績	前期比 増減	
売上高	42,114	49,200	49,815	+7,701	電子材料、ディスプレイ材料の増収による
売上総利益 販売費及び一般管理費	7,354 (17.5%) 5,871		11,621 (23.3%) 6,728		
営業利益	1,483 (3.5%)	4,500 (9.1%)	4,893 (9.8%)	+3,409	増収、操業度の向上による
為替差損益 その他営業外損益	48 -43	373 127	241 133		'24年3月期は持分法による投資損失 47、支払補償費 57を計上 '25年3月期は助成金収入の増加 66を計上
経常利益	1,488 (3.5%)	5,000 (10.2%)	5,267 (10.6%)	+3,779	
有価証券売却益 その他特別損益	679 -95		2 -6		有価証券売却益の減少による 災害による損失 57の減少による
税引前利益	2,072	5,000	5,263		
法人税等他	433	1,500	1,294		
親会社に帰属する四半期純利益	1,639 (3.9%)	3,500 (7.1%)	3,969 (8.0%)	+2,329	

※()内は利益率を表す。

貸借対照表

(百万円)	24/3期	25/3期	増減	
(資産の部)				
流動資産	47,097	49,527	+2,429	現金預金 -1,302、売掛債権 +158、 棚卸資産 +3,143
有形固定資産、無形固定資産	18,345	19,065	+720	設備投資による
投資有価証券	2,327	1,969	-358	政策保有株式の売却による
その他の資産	1,047	1,175	+128	
資産合計	68,816	71,736	+2,919	
(負債の部)				
流動負債	19,423	18,583	-840	買掛債務 +690、短期借入金 -2,534、 未払法人税等 +578
固定負債	3,147	4,594	+1,447	長期借入金 +1,706
負債合計	22,570	23,177	+607	
株主資本	42,867	44,147	+1,280	利益剰余金 +1,241
その他包括利益合計、新株予約権	3,379	4,412	+1,033	為替換算調整勘定 +892
負債純資産合計	68,816	71,736	+2,919	

2025年3月期 通期の前期比増減分析

(百万円)	売上高			セグメント利益		
	24/3期 実績	25/3期 実績	増減	24/3期 実績	25/3期 実績	増減
電子材料	25,105	31,477	6,371	260	2,854	2,593
FPC用材料(有沢製作所)	13,814	17,520	3,706			
FPC用材料(ThinFlex)	7,852	10,092	2,240			
ICGC、プリプレグ	1,741	2,067	326			
プリント配線板(サトーセン)	1,698	1,798	100			
産業用構造材料	10,602	10,616	14	1,476	1,762	286
ハニカムパネル	1,818	1,160	-658			
水処理用FRP製圧力容器	6,044	7,254	1,210			
その他	2,740	2,202	-538			
電気絶縁材料	2,533	2,457	-76	315	170	-145
ディスプレイ材料	3,535	4,913	1,378	940	1,729	789
関連商品・その他	339	352	13	199	210	11
合計	42,114	49,815	7,701	3,190	6,725	3,535
			全社費用	-1,707	-1,832	
			営業利益	1,483	4,893	3,410

- ・売上高は、電子材料およびディスプレイ材料が増加し、77億1百万円(前期比18.3%)の増収。
- ・電子材料の売上高は、スマートフォンに加え半導体の需要が回復し、同25.4%の増収。
- ・産業用構造材料は、水処理需要は好調に推移したが、ハニカムパネル・車載材料が軟調であり、同0.1%の増収にとどまる。
- ・ディスプレイ材料は、3D関連材料および偏光利用部材が伸長し、同39.0%の増収。
- ・営業利益は、電子材料・ディスプレイ材料の売上高の増加・操業度向上、産業用構造材料の製品ミックスの良化により、同3.3倍の増益。
- ・内容の詳細については、8～10ページに記載。

2025年3月期 通期の2月6日予想との増減分析

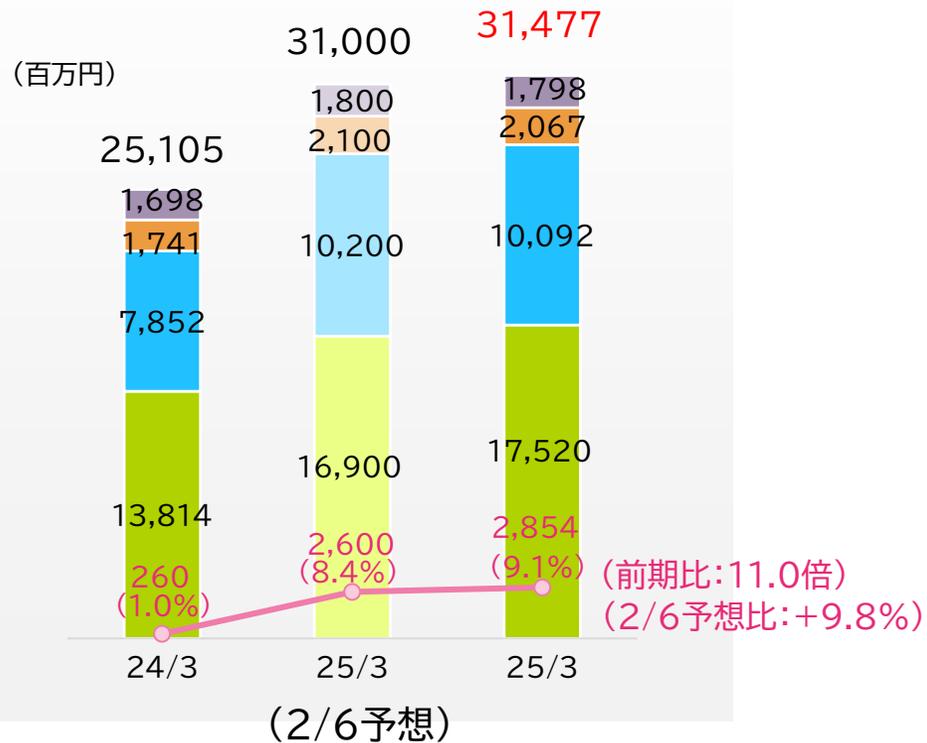


(百万円)	売上高			セグメント利益		
	25/3期 2/6予想	25/3期 実績	増減	25/3期 2/6予想	25/3期 実績	増減
電子材料	31,000	31,477	477	2,600	2,854	254
FPC用材料(有沢製作所)	16,900	17,520	620			
FPC用材料(ThinFlex)	10,200	10,092	-108			
ICGC、プリプレグ	2,100	2,067	-33			
プリント配線板(サトーセン)	1,800	1,798	-2			
産業用構造材料	10,500	10,616	116	1,650	1,762	112
ハニカムパネル	1,100	1,160	60			
水処理用FRP製圧力容器	7,250	7,254	4			
その他	2,150	2,202	52			
電気絶縁材料	2,400	2,457	57	150	170	20
ディスプレイ材料	4,950	4,913	-37	1,700	1,729	29
関連商品・その他	350	352	2	200	210	10
合計	49,200	49,815	615	6,300	6,725	425
			全社費用	-1,800	-1,832	
			営業利益	4,500	4,893	393

- ・売上高は、予想を上回り、6億15百万円（予想比1.3%）の増収。
 - ・電子材料は、FPC材料(有沢製作所)が予想を上回る。
 - ・産業用構造材料は、ハニカムパネル・車載材料の売上高が予想をわずかに上回る。
 - ・ディスプレイ材料は、売上高・セグメント利益ともほぼ予想通り。
 - ・営業利益は、売上高の増加により同8.7%の増益。
- 内容の詳細については、8～10ページに記載。

電子材料 売上高

- プリント配線板(サトーセン)
- ICGC・プリプレグ
- FPC用材料(ThinFlex)
- FPC用材料(有沢製作所)
- セグメント利益(セグメント利益率)



市場

・2022年下期より顕在化した、スマートフォンや半導体の需要停滞は底を打ち、回復基調が継続している。

業績 ・ 前期比

・FPC用材料、ICGC・プリプレグ、プリント配線板、全てにおいて増加し、63億71百万円(前期比25.4%)の増収。

- ・FPC用材料(有沢製作所)は、スマートフォンおよび半導体用途の需要回復により、同26.8%の増収。
- ・FPC用材料(ThinFlex)は、中華系スマートフォンの需要回復により、同28.5%の増収。
- ・ICGC・プリプレグは、同18.7%の増収。
- ・プリント配線板は、同5.9%の増収。

・売上高の増加と操業度向上によりセグメント利益は25億93百万円(同11.0倍)の増益。

業績 ・ 2/6予想比

- ・FPC材料(有沢製作所)が堅調に推移し、売上高は4億77百万円(予想比1.5%)の増収。
- ・セグメント利益は2億54百万円(同9.8%)の増益。

産業用構造材料 売上高

- その他
- 車載材料
- 水処理用FRP製圧力容器
- ハニカムパネル
- セグメント利益(セグメント利益率)



市場

- ・世界的な水需要の増加により飲料水・工場用水などの水処理用材料が好調に推移している。
- ・環境負荷低減に向けた材料の開発も活発化しており、当社においてもさまざまな分野の開発案件が増えている。

業績 ・ 前期比

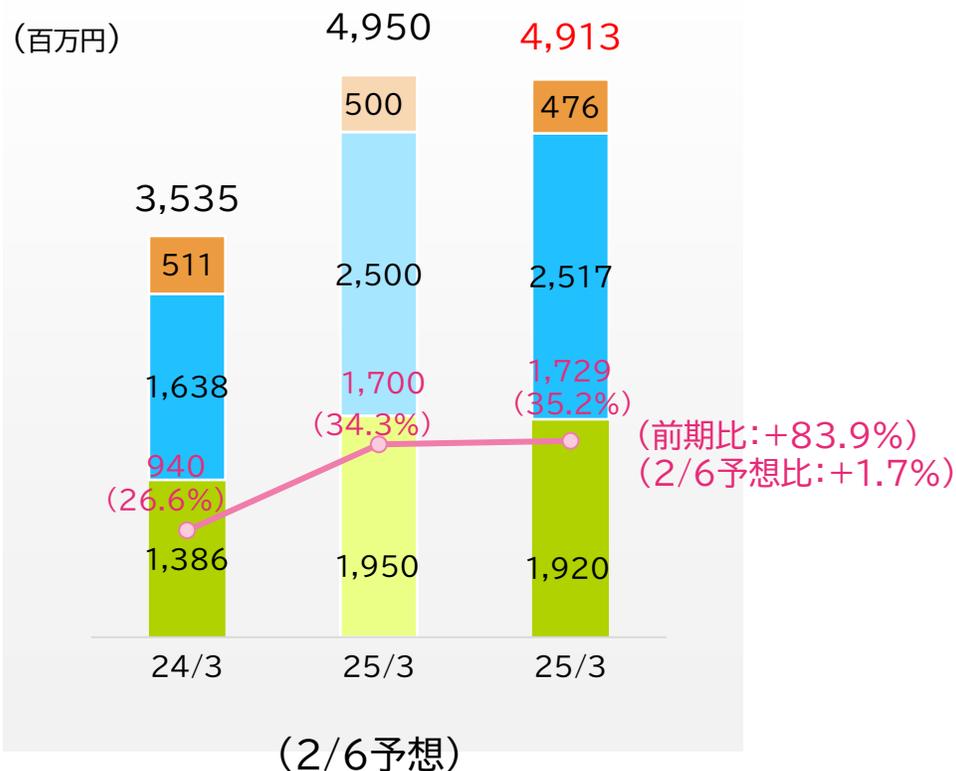
- ・水処理用FRP製圧力容器は堅調に推移したが、ハニカムパネル・車載材料が軟調であり、14百万円(前期比0.1%)の増収にとどまる。
- ・ハニカムパネルは、市場動向の影響を受け同36.2%の減収。
- ・水処理用FRP製圧力容器は前期に引き続き好調を維持。為替の影響などもあり同20.0%の増収。
- ・車載材料は、市場動向の影響を受け同26.9%の減収。
- ・水処理用FRP製圧力容器の増収により、セグメント利益は同2億86百万円(同19.3%)の増益。

業績 ・ 2/6 予想比

- ・ハニカムパネル・車載材料の売上高が予想をわずかに上回り、1億16百万円(予想比1.1%)の増収。セグメント利益は同6.8%の増益。

ディスプレイ材料 売上高

- その他
- 偏光利用部材
- 3D関連材料
- セグメント利益(セグメント利益率)



市場

- ・3D関連材料は、医療用モニター向けの受注が活発であった。医療用途以外への展開を図るため、産業分野の開拓を進めている。
- ・AR、VR関連で、偏光利用部材の需要が拡大している。

業績 ・前期比

- ・ディスプレイ材料は、3D関連材料・偏光利用部材が伸長し、13億78百万円(前期比39.0%)の増収。
- ・3D関連材料は、受注の前倒し、為替の影響などにより同38.5%の増収。
- ・偏光利用部材は、為替の影響もあり同53.6%の増収。
- ・増収により、セグメント利益は7億89百万円(同83.9%)の増益。

業績 ・2/6予想比

- ・売上高・セグメント利益ともほぼ予想通り。

目次

- 2025年3月期 連結決算
- 2026年3月期 業績予想
- 参考資料

2026年3月期 連結業績予想



(百万円)	25/3期 上期 実績	25/3期 通期 実績	26/3期 上期 5/7予想	前年 同期比	26/3期 通期 5/7予想	前期比
売上高	25,172	49,815	24,600	-2.3%	51,400	3.2%
営業利益	2,734	4,893	2,100	-23.2%	4,500	-8.0%
営業利益率	10.9%	9.8%	8.5%		8.8%	
経常利益	2,917	5,267	2,200	-24.6%	4,500	-14.6%
純利益	2,122	3,969	1,500	-29.3%	3,200	-19.4%
一株利益(円)	63.91	119.49	45.16*	-29.3%	96.33*	-19.4%
配当金(円)	42.00	合計 96.00	44.00	--	88.00	--
為替レート (円/\$) 平均 期末	152.36 142.73	151.69 149.52	146.92 140.00	--	143.00 135.00	--

※業績見通しの前提として、相互関税政策による当社事業に関わる影響は現在調査中であり、現時点では反映しておりません。

業績予想(通期)

- ・売上高は、電子材料、産業用構造材料が増加し、15億84百万円(前期比3.2%)の増収。
- ・営業利益は、固定費の上昇や為替の影響により3億93百万円(同8.0%)の減益。
- ・経常利益は、7億67百万円(同14.6%)の減益。
- ・当期純利益は、7億69百万円(同19.4%)の減益。

* 3月31日現在の発行済株式数で試算

2026年3月期 上期予想の前期比増減分析



(百万円)	売上高			セグメント利益		
	25/3期 実績	26/3期 5/7予想	増減	25/3期 実績	26/3期 5/7予想	増減
電子材料	15,229	15,900	671	1,296	1,400	104
FPC用材料(有沢製作所)	8,818	8,800	-18			
FPC用材料(ThinFlex)	4,566	5,000	434			
ICGC、プリプレグ	952	1,200	248			
プリント配線板(サトーセン)	893	900	7			
産業用構造材料	6,026	5,300	-726	1,182	850	-332
ハニカムパネル	769	700	-69			
水処理用FRP製圧力容器	3,990	3,600	-390			
その他	1,267	1,000	-267			
電気絶縁材料	1,180	1,200	20	33	50	17
ディスプレイ材料	2,545	2,000	-545	921	600	-321
関連商品・その他	192	200	8	114	100	-14
合計	25,172	24,600	-572	3,546	3,000	-546
			全社費用	-812	-900	
			営業利益	2,734	2,100	-634

市場予想

- ・半導体ならびに中国市場の需要は、堅調に推移する。
- ・水処理用FRP製圧力容器は、堅調な需要が継続するが、製品ミックスの影響を受け上期は売上が減少する。
- ・ハニカムパネルは、上期は在庫調整局面が続く。
- ・3D関連材料は、在庫調整局面に入る。偏光利用部材は、為替の影響を受ける。

業績予想

- ・電子材料は堅調に推移するも、産業用構造材料・ディスプレイ材料が軟調なことにより、売上高は5億72百万円(前年同期比2.3%)の減収。営業利益は、固定費の上昇や為替の影響により、6億34百万円(同23.2%)の減益を見込む。

2026年3月期 通期予想の前期比増減分析



(百万円)	売上高			セグメント利益		
	25/3期 実績	26/3期 5/7予想	増減	25/3期 実績	26/3期 5/7予想	増減
電子材料	31,477	33,000	1,523	2,854	3,000	146
FPC用材料(有沢製作所)	17,520	17,500	-20			
FPC用材料(ThinFlex)	10,092	11,000	908			
ICGC、プリプレグ	2,067	2,600	533			
プリント配線板(サトーセン)	1,798	1,900	102			
産業用構造材料	10,616	11,200	584	1,762	1,800	38
ハニカムパネル	1,160	1,600	440			
水処理用FRP製圧力容器	7,254	7,200	-54			
その他	2,202	2,400	198			
電気絶縁材料	2,457	2,500	43	170	100	-70
ディスプレイ材料	4,913	4,300	-613	1,729	1,300	-429
関連商品・その他	352	400	48	210	200	-10
合計	49,815	51,400	1,584	6,725	6,400	-325
			全社費用	-1,832	-1,900	
			営業利益	4,893	4,500	-393

市場予想

- ・半導体ならびに中国市場の需要は、堅調に推移する。
- ・水処理用FRP製圧力容器は、堅調に推移する。
- ・ハニカムパネルは、下期にやや需要が回復する。
- ・3D関連材料は、下期に需要が回復し、通期で前期並みを見込む。偏光利用部材は、為替の影響が続く。

業績予想

- ・電子材料、産業用構造材料が堅調に推移することにより、売上高は15億84百万円(前期比3.2%)の増収。営業利益は、固定費の上昇や為替の影響により、3億93百万円(同8.0%)の減益を見込む。

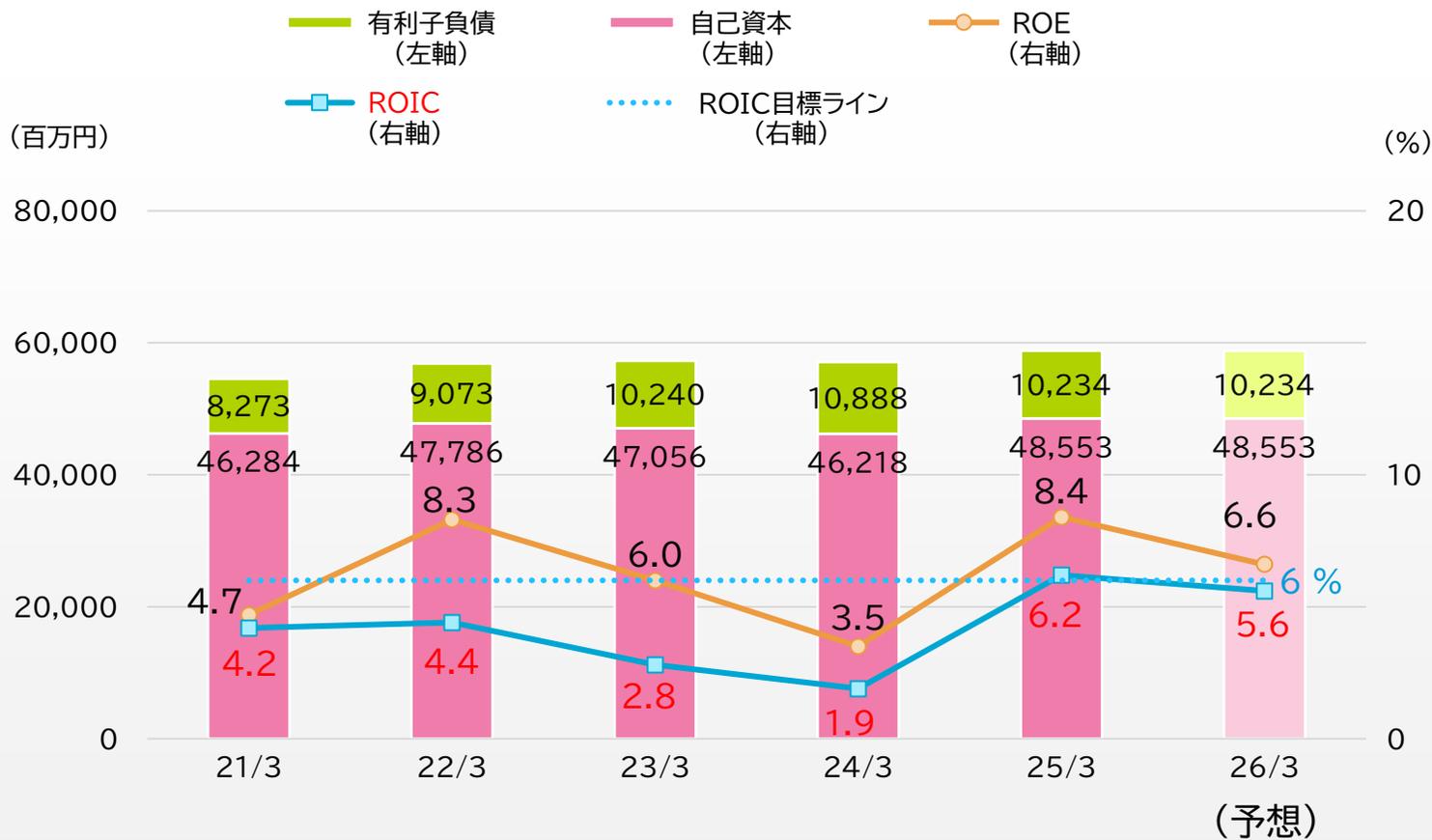


ROE・ROICの推移



$$\text{ROE} = \text{当期純利益} / \text{自己資本}$$

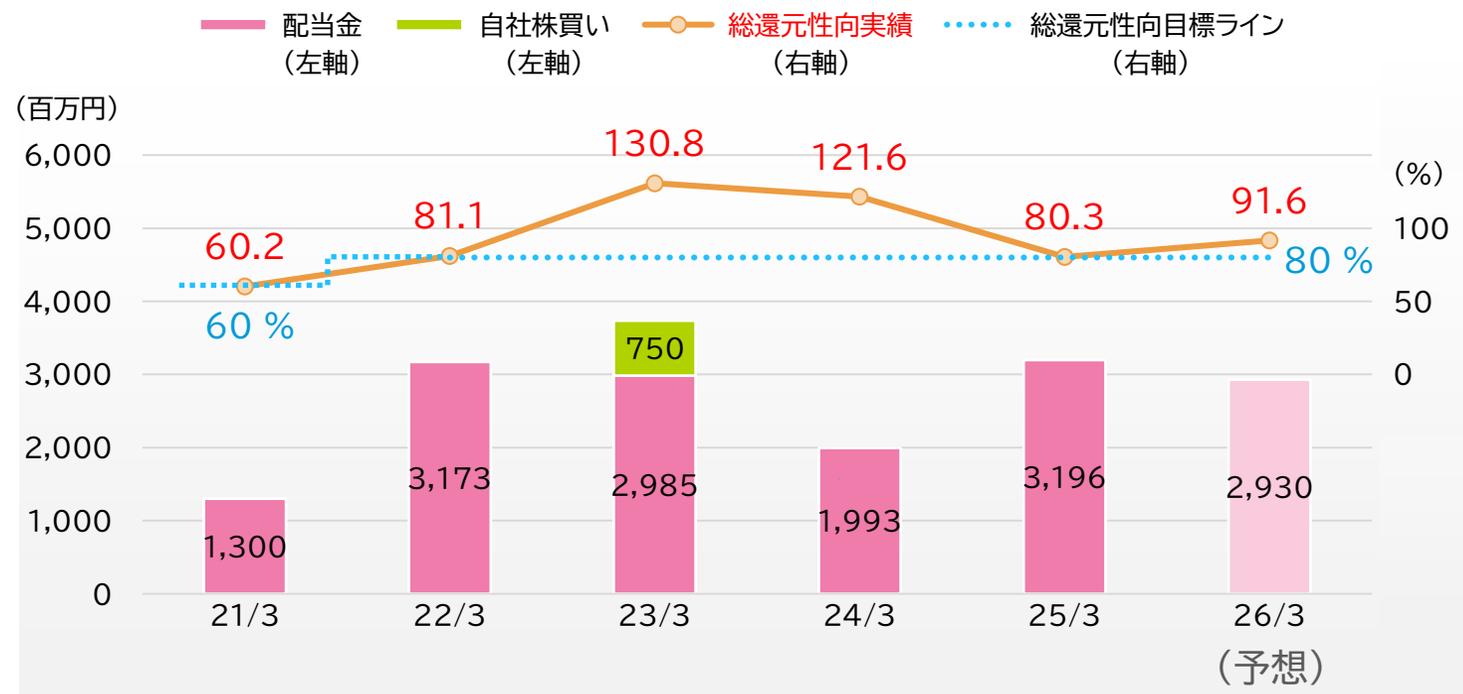
$$\text{ROIC} = \text{税引き後営業利益} / (\text{自己資本} + \text{有利子負債})$$



- ・'25年3月期のROICは、営業利益の増加により6.2%となり、'25年3月期を最終年度とする中期経営計画の目標6%を達成。
- ・'26年3月期のROICは、営業利益の減少により5.6%を見込む。



配当金・総還元性向の推移



- ・'25年3月期の期末配当金は、従来予想の1株当たり42円から12円を増配し、1株当たり54円に修正。
- ・この結果、中間期配当42円と合わせて年間配当金は96円となり、'25年3月期の総還元性向は80.3%。

株主還元方針

- ・安定性を志向した指標である「株主資本配当率(DOE)6%」と「総還元性向80%以上」のいずれか高い方を株主還元とする。(適用期間:自己資本比率50%程度を達成できる時期まで)

	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3
株価(円/株)*	1,000	957	1,254	1,137	1,384	—
配当金(円/株)	39	95	90	60	96	合計 88 (予想)
配当利回り(%)	3.9	9.9	7.2	5.3	6.9	—

* 各年度末の終値

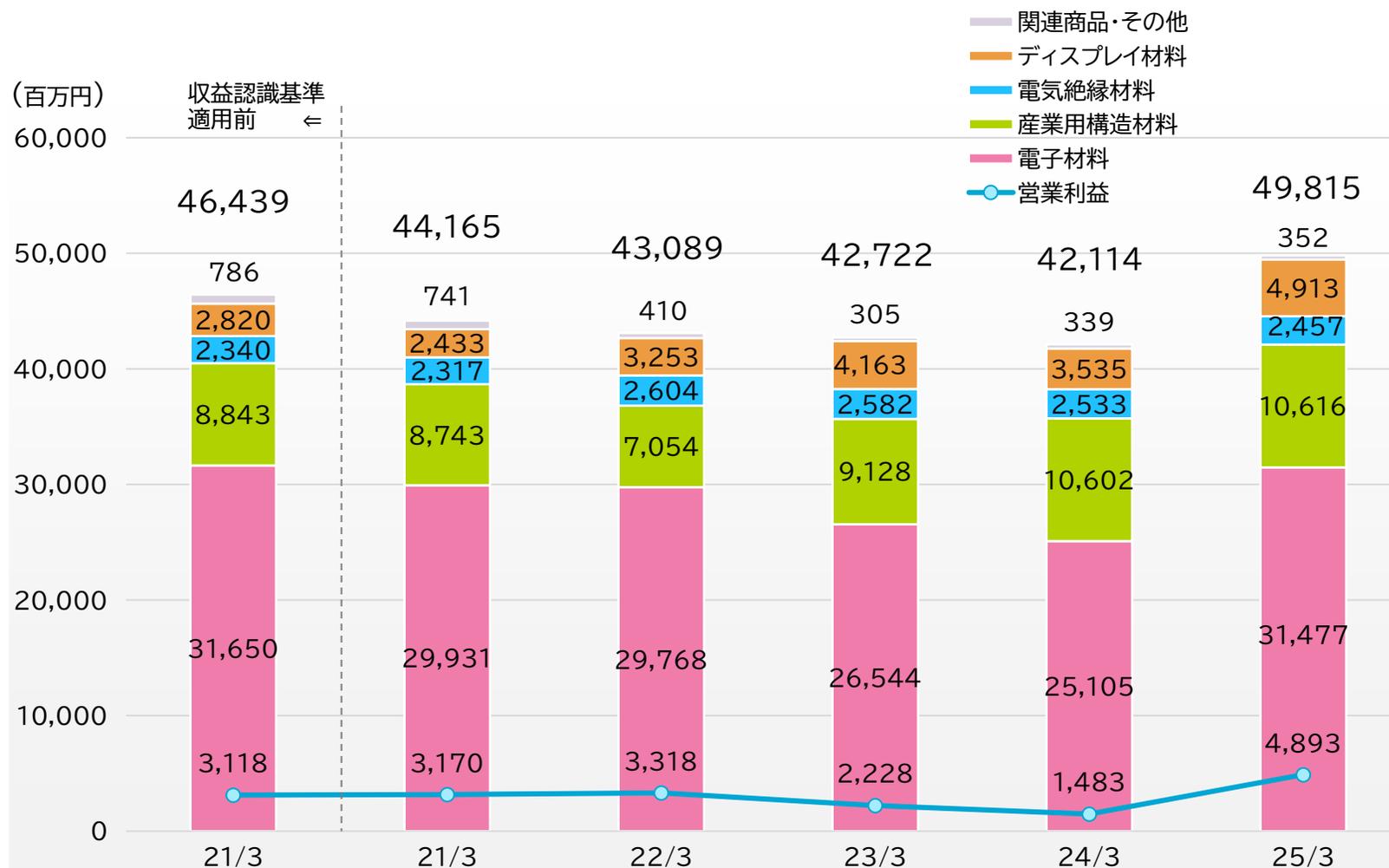
目次

- 2025年3月期 連結決算
- 2026年3月期 業績予想
- 参考資料

会社別 通期業績(前期比・予想比)

(百万円)	売上高					営業利益				
	24/3期 実績	25/3期 予想 (2/6)	25/3期 実績	増減 対前期 対予想		24/3期 実績	25/3期 予想 (2/6)	25/3期 実績	増減 対前期 対予想	
単体										
有沢製作所	26,560	29,500	30,267	3,707	767	905	2,400	2,707	1,802	307
連結会社										
シンフレックス	8,559	12,200	12,173	3,614	-27	-601	310	318	919	8
サトーセン	1,699	1,800	1,800	101	0	10	45	47	37	2
アリサワファイバーグラス	1,897	2,250	2,255	358	5	-67	70	61	128	-9
プロテック	6,037	7,100	7,105	1,068	5	906	1,150	1,144	238	-6
有沢総業	1,786	1,900	1,924	138	24	102	100	110	8	10
有沢樹脂工業	291	250	268	-23	18	34	5	27	-7	22
カラーリンク・ジャパン	1,640	2,500	2,518	878	18	131	420	470	339	50
(連結消去額)	-6,355	-8,300	-8,495			63	0	9		
合計	42,114	49,200	49,815	7,701	615	1,483	4,500	4,893	3,410	393

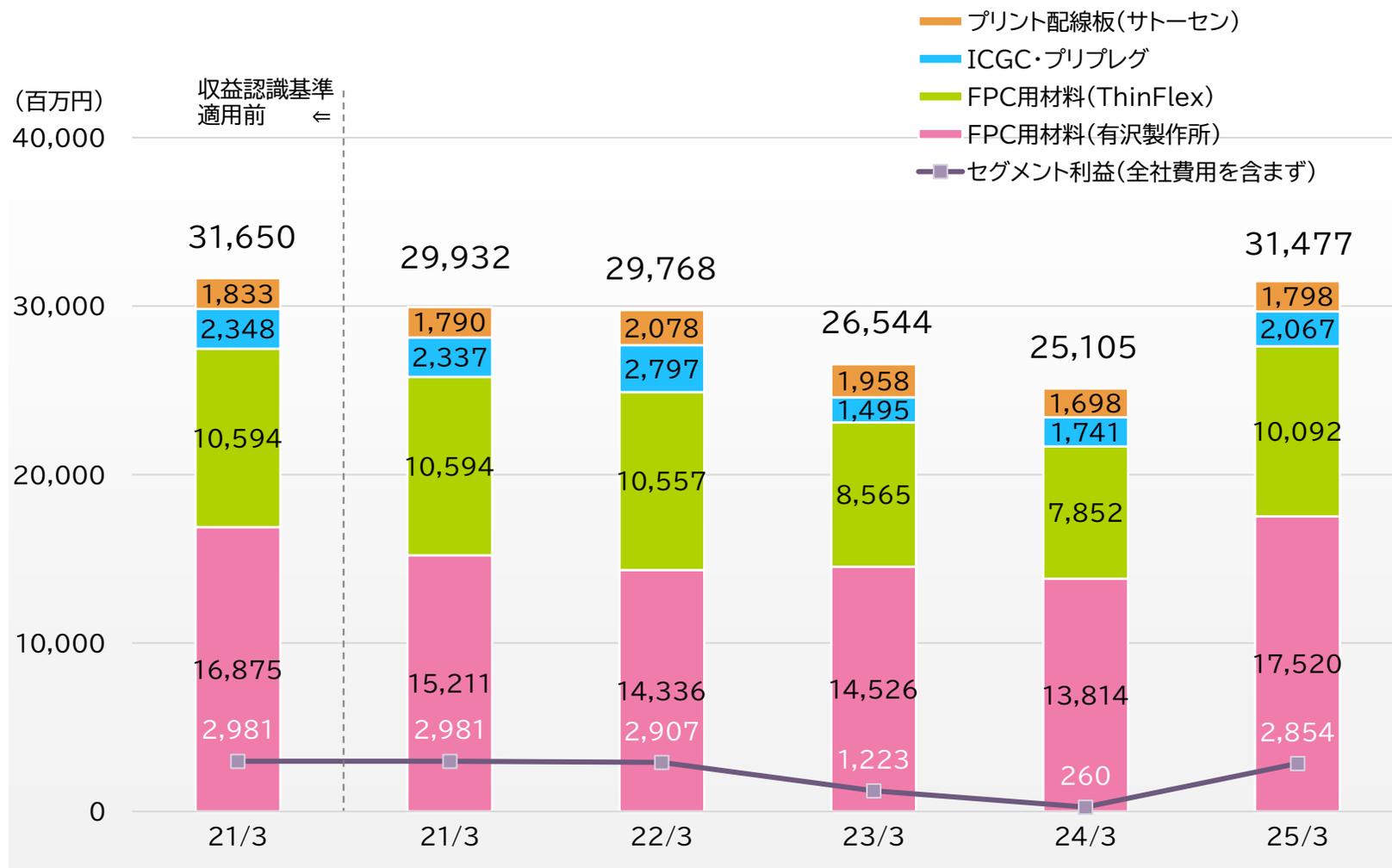
年度別／分野別の業績推移(売上高・営業利益)



'22年3月期から収益認識基準を適用。(参考として'21年3月期も遡及適用)



電子材料の売上高推移



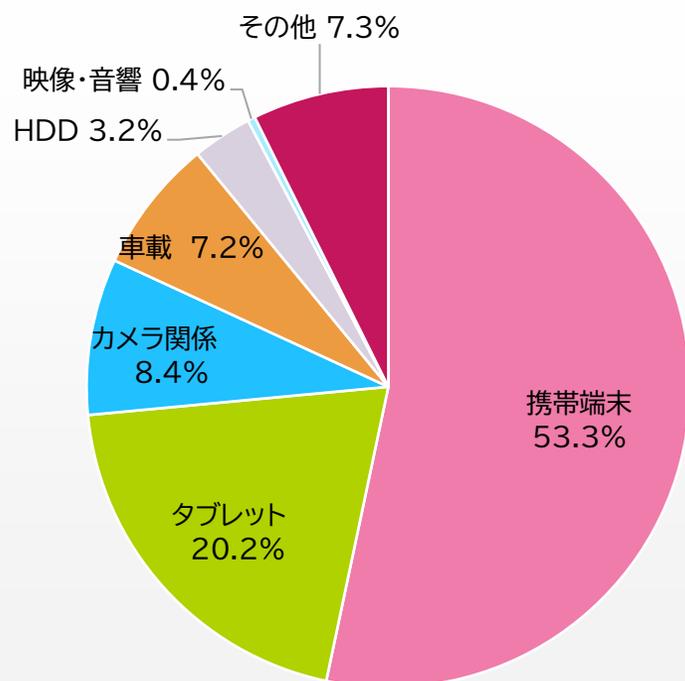
'22年3月期から収益認識基準を適用。(参考として'21年3月期も遡及適用)



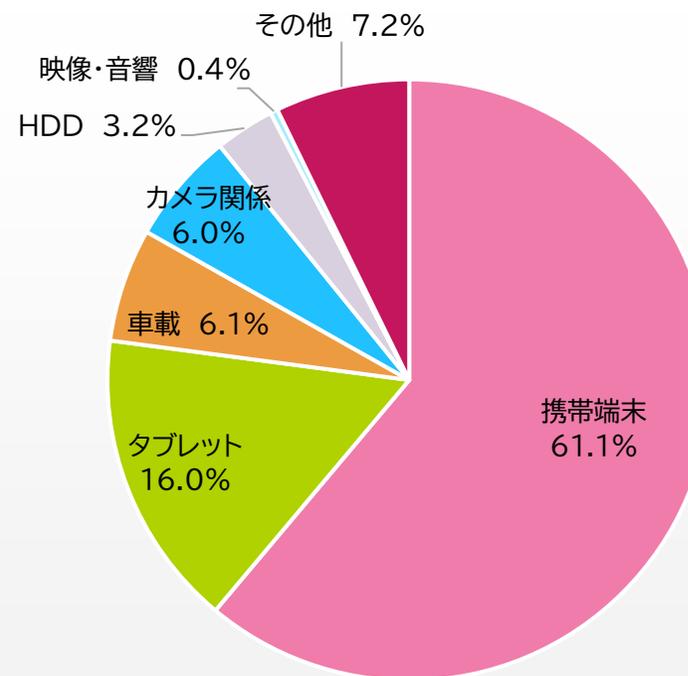
当社製FPC材料の用途



2024年3月期

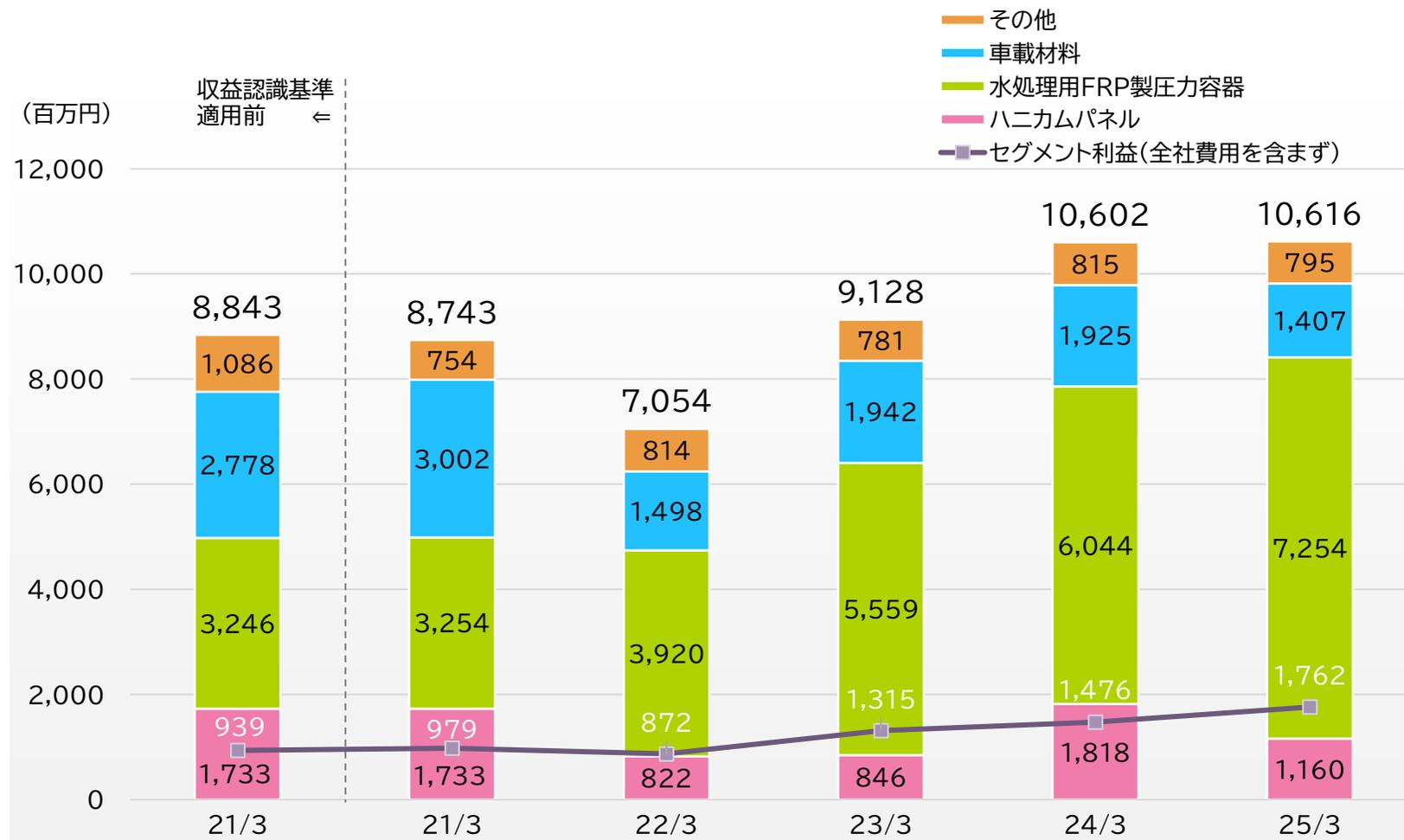


2025年3月期



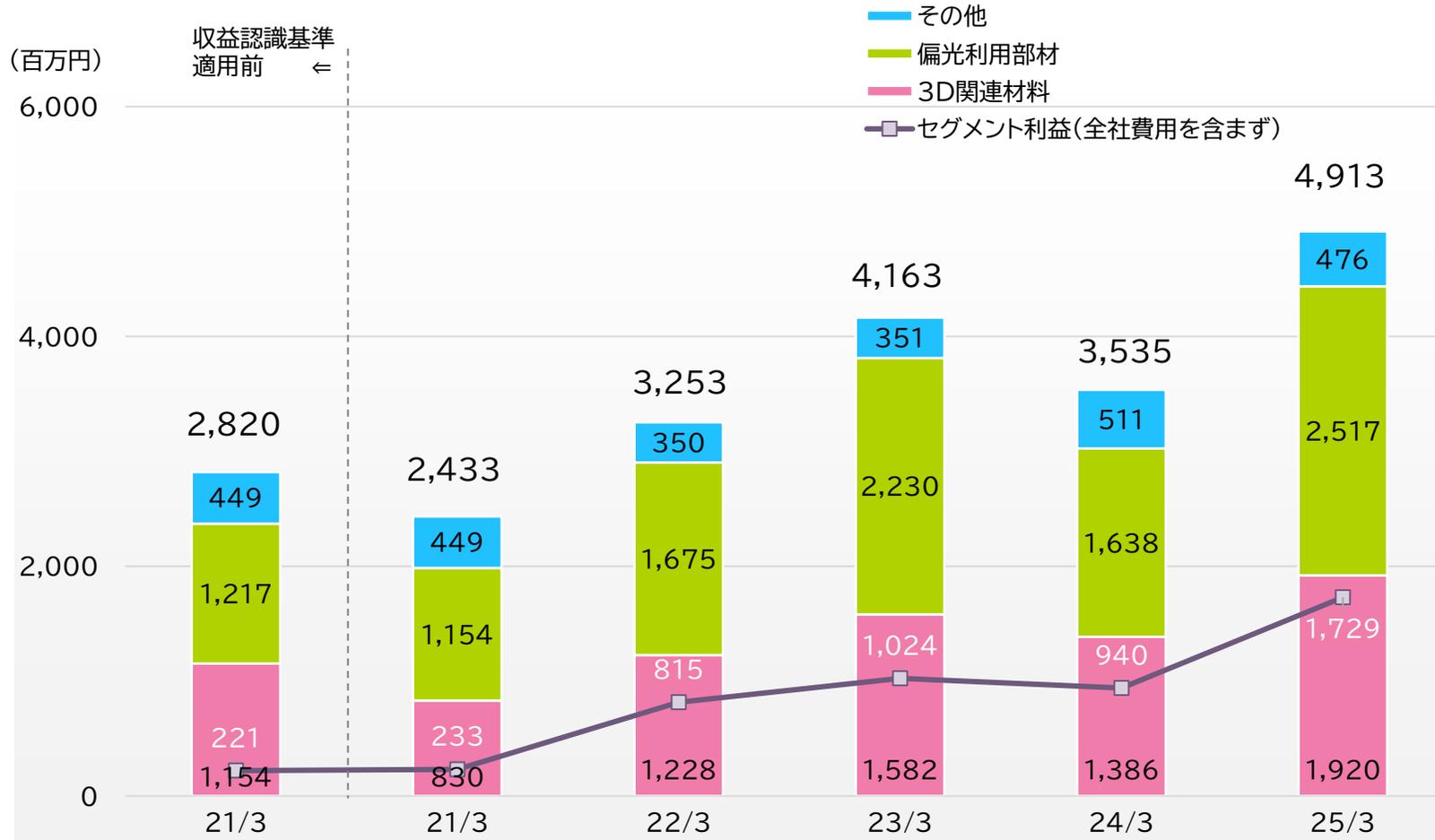
数量ベース
出所:当社推定

産業用構造材料の売上高推移



'22年3月期から収益認識基準を適用。(参考として'21年3月期も遡及適用)

ディスプレイ材料の売上高推移



'22年3月期から収益認識基準を適用。(参考として'21年3月期も遡及適用)

新製品売上高の推移(単体:月次決算ベース)

売上高(百万円)

新製品売上高比率(%)

= 新製品売上高 / 売上高

差異化製品・応用製品 + 環境配慮製品の開発により収益力強化

目標値:新製品売上高比率**50%以上**

新製品の分類と要件

P(Pure)

新規材料・配合・効果、新規加工方法
特許出願またはそれに相当する内容

T(Technical)

大幅な工程改善・生産性向上、
材料・配合の切り替え・改良

S(Sales)

用途展開、モデルチェンジ

E(Eco)

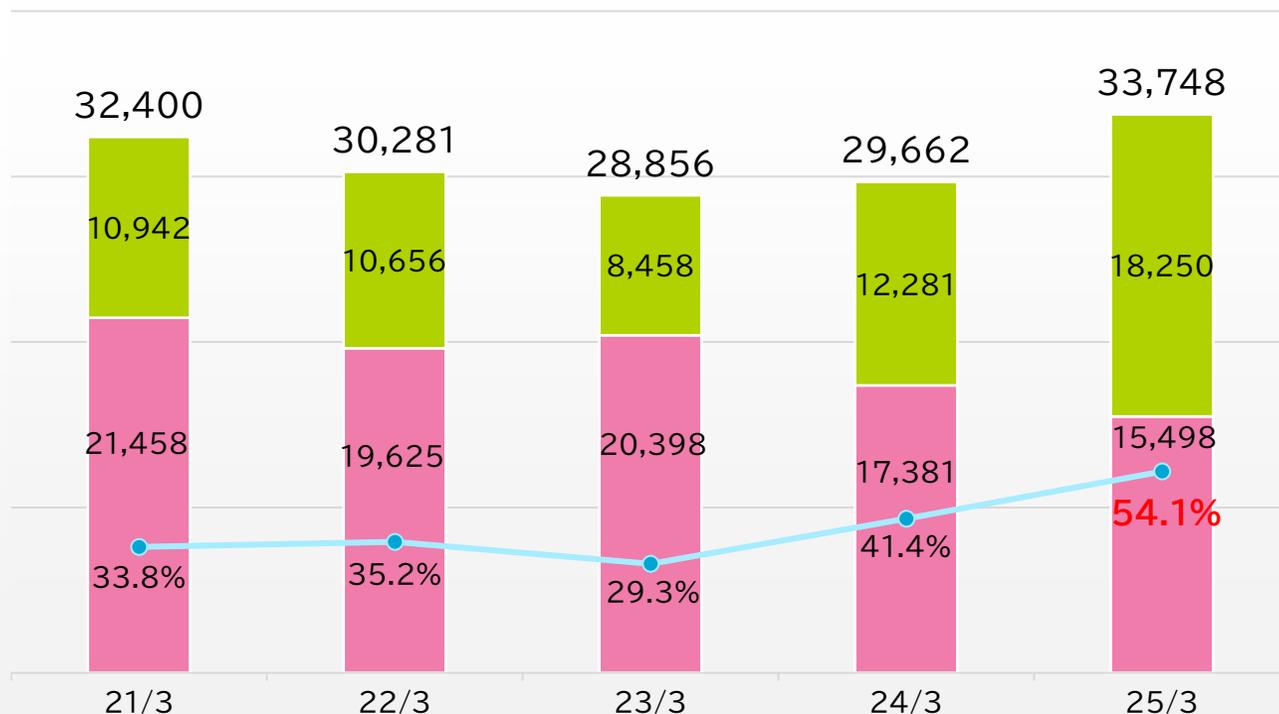
CO2 削減効果のある材料・加工方法の採用や用途、
顧客工程でのCO2 削減 …’ 23年3月期より採用

E-C(E-CO2)

既存品の製造条件の見直しによりエネルギー
使用量を削減 …’ 24年3月期下期より採用

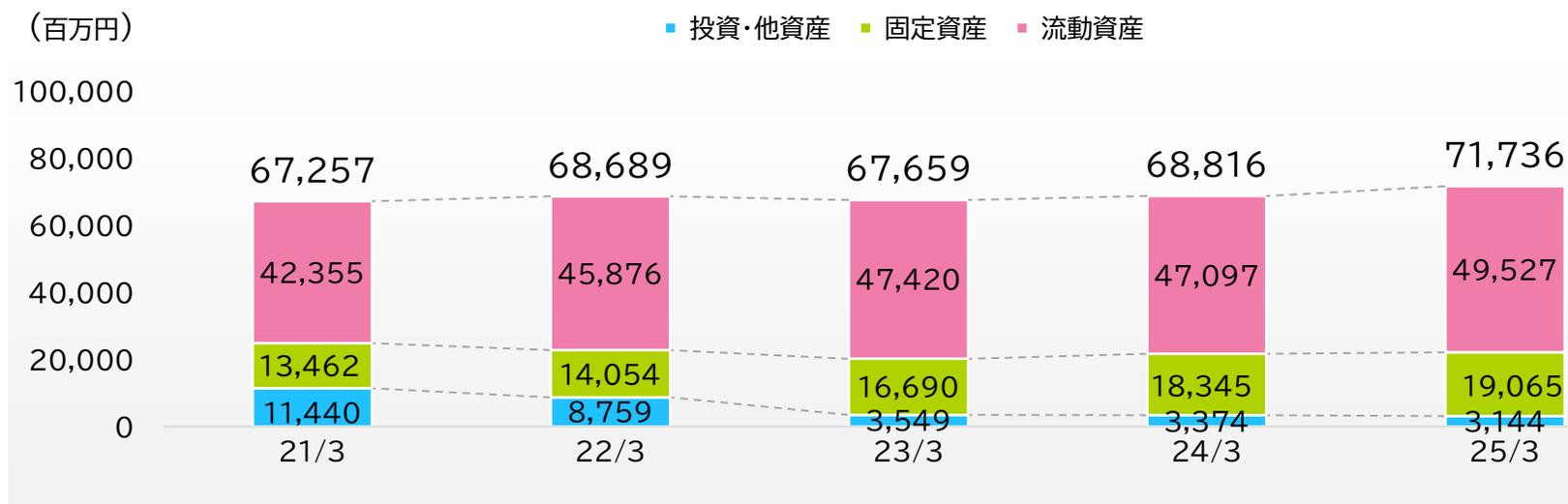
新製品のカウント期間は、販売後3年間。

■ 新製品
■ 既存品
● 新製品売上高比率

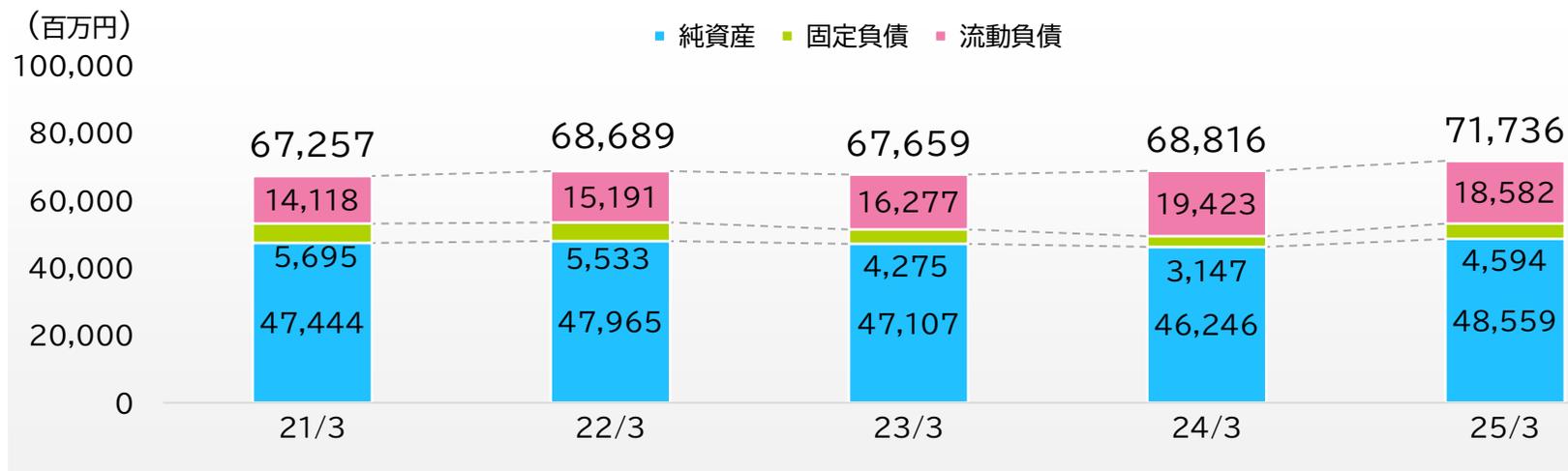


連結貸借対照表(要旨)の推移

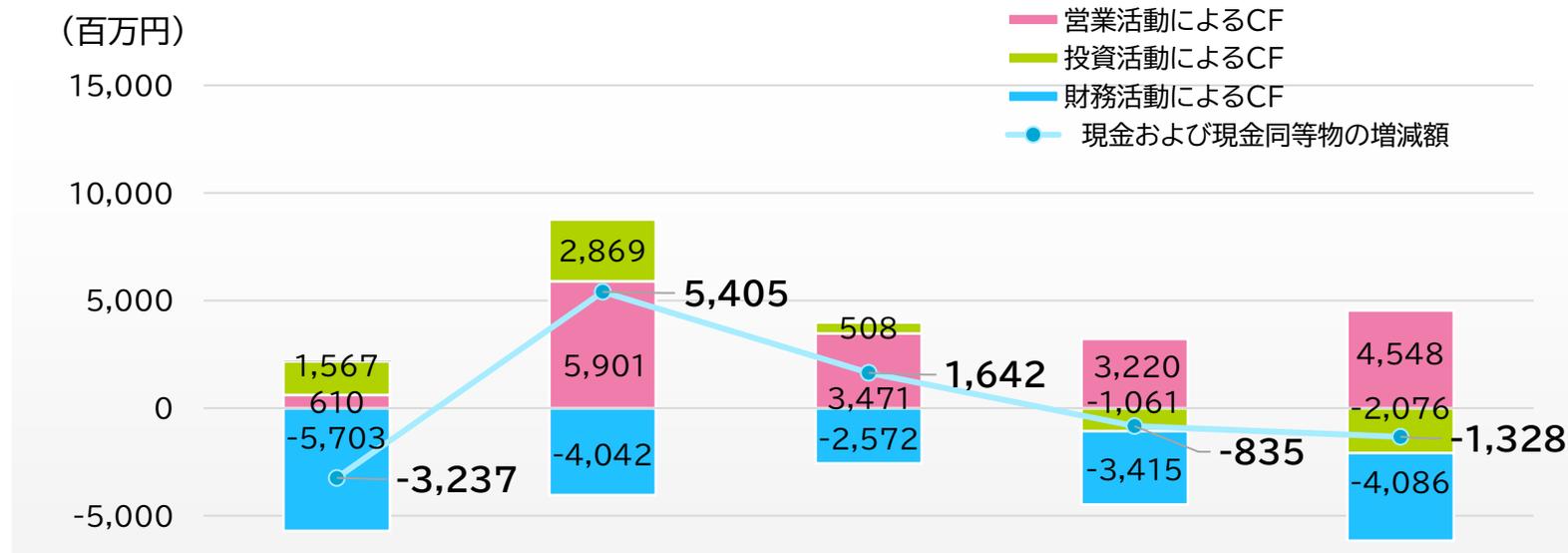
資産の部



負債・純資産の部

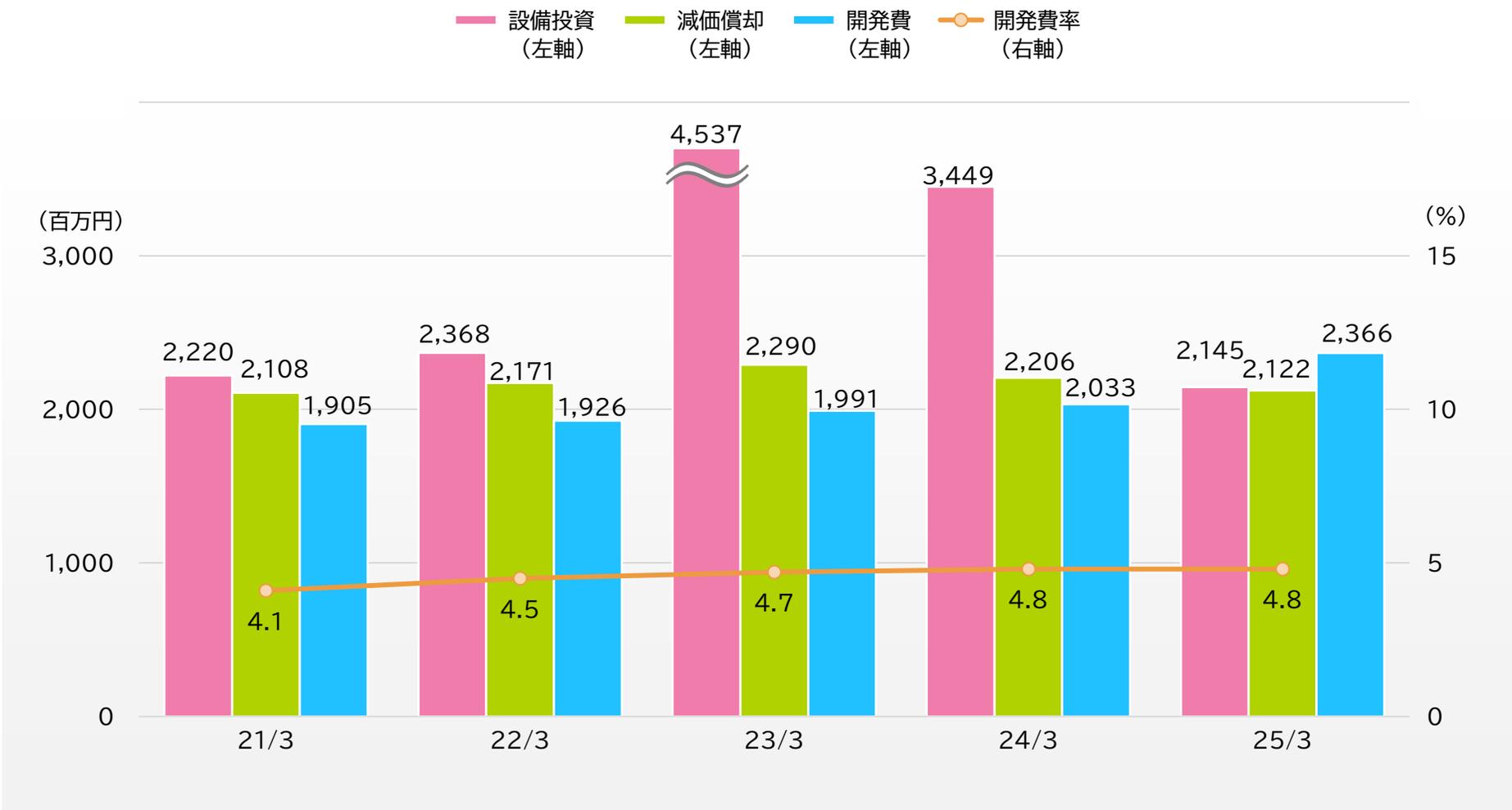


連結キャッシュフローの推移



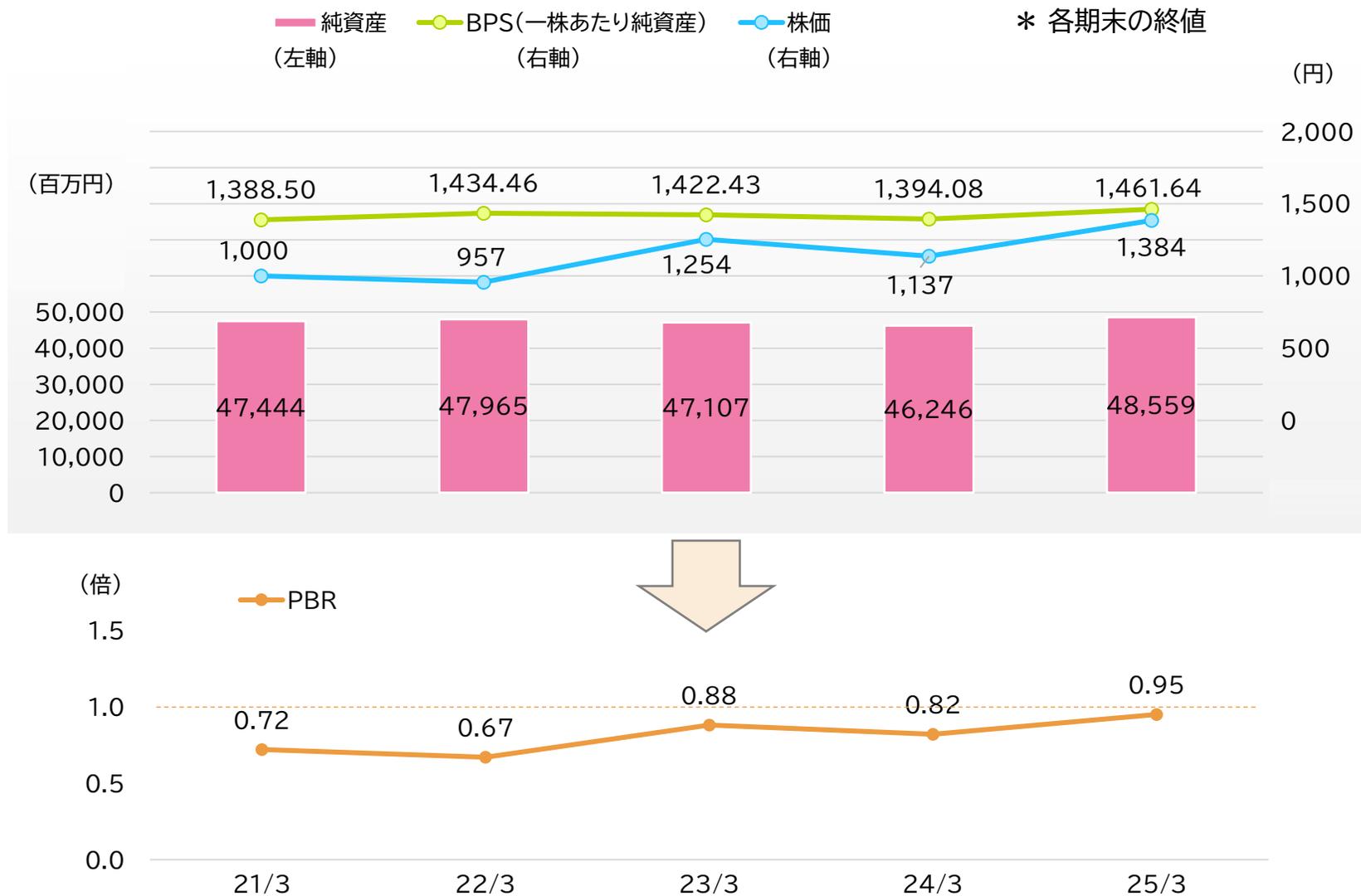
	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3
営業活動によるCF	610	5,901	3,471	3,220	4,548
法人税等の支払	-4,970	889	-1,588	-1,016	-559
投資活動によるCF	1,567	2,869	508	-1,061	-2,076
有形・無形固定資産の取得による支出	-1,983	-2,007	-4,375	-3,779	-2,250
投資有価証券の売却による収入	4,938	3,235	6,411	1,087	168
財務活動によるCF	-5,703	-4,042	-2,572	-3,415	-4,086
配当金の支払	-995	-1,463	-3,000	-3,641	-2,723
自己株式の取得による支出		-82	-748		-122
ThinFlexの完全子会社化による支出	-4,324	-2,439			

設備投資・減価償却費・開発費の推移





PBR(株価純資産倍率)の推移



本資料は、株式会社有沢製作所(以下当社)による口頭説明によって補完され、かつ、かかる説明との関連性において検討されるべきものです。当社の事前の書面による同意なしに、本資料およびその内容をいかなる目的にも使用することはできなく、また本資料の内容を公表する権利もしくは第三者に開示する権利を付与するものではありません。

本資料に示されている情報は、当社経営陣の予測に基づくもの、あるいは本資料作成時点における実勢および当社の見解に依拠したものであり、予告無しに変更されることがあります。当社は、公の情報源から入手した情報、その他当社の検討した情報が全て正確かつ完全であることを前提に本資料を作成しており、これらの情報について独自の検証は行っておりません。